

大学における司書教諭資格科目の現状

三輪眞木子* 村主朋英** 竹内比呂也*** 吉田右子**** 辻慶太***** 柴田正美*****

【概要】科学研究費による「情報専門職の養成に向けた図書館情報学教育体制の再構築に関する総合的研究 LIPER (Library and Information Professions and Education Renewal)」(基盤 A・代表: 上田修一)の一環として、大学における司書教諭教育の現状を把握することを目的に、司書教諭資格を開設している日本の全大学を対象に郵送質問紙調査を実施した。調査の結果、大学内での司書教諭教育の位置づけ、カリキュラムの特徴、学生の動向、教員の動向が明らかとなった。

【キーワード】司書教諭、資格教育、情報専門職、カリキュラム、質問紙調査

I. はじめに

LIPER 図書館情報学教育班は、大学における図書館情報学・司書・司書教諭教育の現状把握を目的に、3年にわたる調査研究を実施している。平成16年10月に、司書課程・司書教諭課程を開設する大学の質問紙調査を実施し、わが国における図書館情報学教育の全体像を把握しようとした。

以下では、質問紙調査結果のうち司書教諭教育にかかわる部分を中心に報告する。司書資格プログラムの調査結果については、既往研究⁽¹⁾を参照されたい。

II. 調査方法

1. 研究設計

本調査研究では、分析単位を「司書教諭教育プログラム」とし、司書教諭課程・司書教諭資格科目・司書教諭講習を開設する全大学を調査対象とした。

2. 質問紙の設計

本調査研究では、各大学における司書教諭教

育プログラムについて質問した。質問紙の設計にあたっては、以下の点を把握しようとした。

- (1) 大学内での司書教諭教育の位置づけ
- (2) 司書教諭教育カリキュラムの特徴
- (3) 司書教諭教育受講学生の動向
- (4) 司書教諭教育担当教員の動向

質問紙では、以上のほかに各プログラムの沿革および H15 年度の司書教諭資格科目修了者数等についても質問した。

3. 調査対象

調査対象の選定にあたっては、『日本の図書館情報学教育 2000』を基礎データとし、この調査以降に司書教諭教育プログラムが新設された大学の情報を『図書館年鑑』、『司書講習相当科目の単位認定大学一覧』、『平成16年度司書及び司書補講習実施大学一覧』、『司書教諭講習一覧(官報告示用)』で補った。これらの情報源で確認された司書教諭教育プログラムを開設している全大学(296)を調査対象とする悉皆調査を実施した。

* MIWA, Makiko: メディア教育開発センター (miwamaki@nime.ac.jp)

** MURANUSHI, Tomohide: 愛知淑徳大学 (muransky@asu.aasa.ac.jp)

*** TAKEUCHI, Hiroya: 千葉大学 (hiroya@L.chiba-u.ac.jp)

**** YOSHIDA, Yuko: 筑波大学 (yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp)

***** TSUJI, Keita: 国立情報学研究所 (keita@nii.ac.jp)

***** SHIBATA, Masami: 帝塚山大学 (mshibata@tezukayama-u.ac.jp)

4. 調査手順

平成16年10月15日に質問紙を各大学の学長宛に送付し、期日（11月5日）までに未回答の大学には11月14日に督促状を送付した。12月24日までに計231大学から回答を得た（回答率78.0%）。回答データの数値項目については、司書教育プログラムと司書教諭教育プログラムについて、各々単純集計と、大学種類別および設置形態別のクロス集計を実施した。記述項目については、内容分析を実施した。

Ⅲ.調査結果

大学の種類により回答率にやや違いがみられ、4年制大学の回答率が最も高く（83.9%）4年制単科大学が中間（76.7%）で、短期大学が最も低かった（68.0%）。

回答大学のうち、司書教諭資格プログラムのみを提供しているケースが45大学、司書教諭資格と司書資格の両方のプログラムを提供しているケースが128大学であった。

回答大学における平成15年度の司書教諭資格全科目修了者数は、司書教諭課程（司書教諭資格科目を含む）計4,227名、司書教諭講習計5,324名、通信制司書教諭資格課程計228名で、合計9,779名だった。

1.司書教諭資格科目の位置づけ

司書教諭資格科目を大学内でどのように位置づけているかを明らかにするために、司書教諭資格に関する学内規定、司書教諭資格科目の教職単位認定状況等を把握した。

(1)司書教諭資格の学内規定

司書教諭資格の規定について学則や学部規則等への記載の有無を、大学内での司書教諭資格教育の位置づけに関する目安として把握した。司書教諭資格の規定を学則や全学規則で規定しているものが104大学（60.1%）、学部規則で規定しているものが12大学（6.9%）、履修案内等で規定しているものが68大学（39.3%）で、全く規定のないものも19大学（11.0%）あった。

表1：大学種類別にみた司書教諭資格の規定*

| 大学の種類 | 学則等 | 学部規則等 | 履修案内等 | 規定なし |
|-------|------------|----------|-----------|-----------|
| 総合 | 66(55.5%) | 9(7.6%) | 49(41.2%) | 17(14.3%) |
| 単科 | 15(60.0%) | 2(8.0%) | 14(56.0%) | 1(4.0%) |
| 短期 | 23(79.3%) | 1(3.4%) | 5(17.2%) | 1(3.4%) |
| 計 | 104(60.1%) | 12(6.9%) | 68(39.3%) | 19(11.0%) |

*無回答（14）を含む総数は173

司書教諭資格の規定を大学の種類別にみると（表1）、学則等の全学的規則で規定しているものは短大で多いのに対し、総合大学では少ない傾向がみられる。

表2：設置形態別にみた司書教諭資格の規定*

| 設置形態 | 学則等 | 学部規則等 | 履修案内等 | 規定なし |
|------|------------|----------|-----------|-----------|
| 国 | 0(0.0%) | 1(2.37%) | 25(58.1%) | 15(34.9%) |
| 公 | 5(83.3%) | 0(0.0%) | 3(50.0%) | 0(0.0%) |
| 私 | 99(79.9%) | 11(8.9%) | 40(32.3%) | 4(3.2%) |
| 計 | 104(60.1%) | 12(6.9%) | 68(39.3%) | 19(11.0%) |

*無回答（14）を含む総数は173

大学の設置形態別にみると（表2）、国立大学では学則等の全学的規則で規定しているケースはないのに対し、公立・私立大学では学則等で規定しているケースが多い。

(2)司書教諭資格科目の教職単位認定

司書教諭資格科目の教職単位認定の有無では、「全て認めている」が19大学（11.1%）、「一切認めていない」が116大学（67.1%）、「一部を認めている」が21大学（12.1%）、「その他」が3大学（1.7%）である。司書教諭資格の取得は教員免許取得を条件としているが、司書教諭資格科目が教職単位として認められていない場合も多い。

表3：大学種類別にみた教職単位認定*

| 大学の種類 | 全て認める | 一切認めない | 一部認める | その他 |
|---------|-----------|------------|-----------|---------|
| 4年制総合大学 | 16(13.4%) | 72(60.5%) | 17(14.3%) | 2(1.7%) |
| 4年制単科大学 | 3(12.0%) | 18(72.0%) | 3(12.0%) | 1(4.0%) |
| 短期大学 | 0(0.0%) | 26(89.7%) | 1(3.4%) | 0(0.0%) |
| 計 | 19(11.0%) | 116(67.1%) | 21(12.1%) | 3(1.7%) |

*無回答（14）を含む総数は173

司書教諭資格科目の教職単位認定の有無を大学の種類別にみると(表3)、「一切認めない」ものは短大に多い傾向が見られた。

表4：設置形態別にみた教職単位認定*

| 設置形態 | 全て認める | 一切認めない | 一部認める | その他 |
|------|-----------|------------|-----------|---------|
| 国 | 5(11.6%) | 20(46.5%) | 6(14.0%) | 1(2.3%) |
| 公 | 0(0.0%) | 5(83.3%) | 1(16.7%) | 0(0.0%) |
| 私 | 14(11.3%) | 91(73.4%) | 14(11.3%) | 2(1.6%) |
| 計 | 19(11.0%) | 116(67.1%) | 21(12.1%) | 3(1.7%) |

*無回答(14)を含む総数は173

大学の設置形態別にみると、「一切認めない」ものは私立・公立大学で多いのに対し、国立大学では少ない傾向がみられた(表4)。

(3)課金

私立大学の47.6%は司書教諭資格科目履修者への学費以外の課金を実施しており、課金方法には、司書課程と共通で課金、教職課程に一括課金、などがある。

表5：大学の種類別にみた課金状況

| 大学の種類 | 学費以外に課金 | 学費以外課金なし | その他 | 無回答 |
|---------|-----------|-----------|----------|----------|
| 4年制総合大学 | 61(51.3%) | 38(31.9%) | 9(7.6%) | 11(9.2%) |
| 4年制単科大学 | 16(64.0%) | 9(36.0%) | 0(0.0%) | 0(0.0%) |
| 短期大学 | 14(48.3%) | 12(41.4%) | 1(3.4%) | 2(6.9%) |
| 計 | 91(52.6%) | 59(34.1%) | 10(5.8%) | 13(7.5%) |

大学の種類別にみると(表5)、4年制単科大学で学費以外に課金しているものが若干多い傾向がみられた。

2.カリキュラムの特徴

(1)履修開始学年

司書教諭資格科目の履修開始年は、2年次から履修可能な大学が最も多く、1年次からがそれに次ぎ、3年次からとする大学もかなりあった。大学の種類別にみると(表6)、当然のことながら、短期大学は大多数が1年次から履修を開始している。設置形態別にみると(表7)国立大学では3年次から履修開始を認めているものが多いのに対し、公立大学では1年次から、私立大学では2年次からが多い。

表6：大学の種類別にみた履修開始学年*

| 大学の種類 | 1年次から | 2年次から | 3年次から | その他 |
|---------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 4年制総合大学 | 23(19.3%) | 53(44.5%) | 28(23.5%) | 3(2.5%) |
| 4年制単科大学 | 3(12.5%) | 9(36.0%) | 11(44.0%) | 2(8.0%) |
| 短期大学 | 23(79.3%) | 4(13.8%) | -- | 0(0.0%) |
| 計 | 49(28.3%) | 66(38.2%) | 39(22.5%) | 5(2.9%) |

*無回答(14)を含む総数は173

表7：設置形態別にみた履修開始学年*

| 設置形態 | 1年次から | 2年次から | 3年次から | その他 |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 国 | 6(14.0%) | 11(25.6%) | 14(32.6%) | 2(4.7%) |
| 公 | 4(66.7%) | 0(0.0%) | 1(16.7%) | 1(16.7%) |
| 私 | 39(31.5%) | 55(44.4%) | 24(19.4%) | 2(1.6%) |
| 計 | 49(28.3%) | 66(38.2%) | 39(22.5%) | 5(2.9%) |

*無回答(14)を含む総数は173

(2)カリキュラムに生じた変化

平成10年の省令改正に伴う「開講科目の改訂」以降に新たにカリキュラムを改訂したのは23大学(13.3%)で、うち新たに必修科目を追加したケースは15大学(8.7%)であった。その他には、『新たに開設(3件)』、『学則中「学校図書館に関する科目」の文言を「講習規程科目」に改定(1件)』、『大学の加える科目については「履修しておく事が望ましい」とした(1件)』、『平成15年度の司書教諭講習から5科目を開講するようになったことに伴い、カリキュラムに含まれていた2科目を平成16年度から削除した(1件)』、『文部科学省からの委託を受けて講習を行ってきているが、大学のカリキュラムの中に位置付けているわけではない(1件)』、『「学習指導と学校図書館」を選択科目として開講(1件)』の回答があった。大学の種類、設置形態による違いはほとんどない。

3.学生の動向

(1) 受講者の範囲

司書教諭資格科目を履修できる学生の範囲については、短期大学で特定学部・学科の学生に限定している傾向が強い(表8)。

表 8：大学種類別の司書教諭科目受講範囲

| 大学の種類 | 全学生 | 特定学部・学科 | 無回答 |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 4年制総合大学 | 72(60.5%) | 39(32.8%) | 8(6.7%) |
| 4年制単科大学 | 20(80.0%) | 5(20.0%) | 0(0.0%) |
| 短期大学 | 4(13.8%) | 23(79.3%) | 2(6.9%) |
| 計 | 96(55.5%) | 67(38.7%) | 10(5.8%) |

(2) 学生数の変化

司書教諭資格科目受講者数の変化については(表 9)、増加したケースが 56 大学(32.4%)、減少したケースが 30 大学(17.3%)、変化がないケースが 64 大学(37.0%)で、全体的にはやや増加傾向がみられた。

表 9：大学種類別の学生数変化*

| 大学の種類 | 変化なし | 増加した | 減少した | その他 |
|---------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 4年制総合大学 | 41(60.5%) | 17 | 41(32.8%) | 8(6.7%) |
| 4年制単科大学 | 12(80.0%) | 5(20.0%) | 8(32.0%) | 0(0.0%) |
| 短期大学 | 3(10.3%) | 8(27.6%) | 15(51.7%) | 0(0.0%) |
| 計 | 56(32.4%) | 30(17.3%) | 64(37.0%) | 8(4.6%) |

*無回答(15)を含む総数は173

大学の種類別では、短期大学で減少傾向がみられるが、設置形態による違いは殆どない。

(3) 卒業後の進路の変化

表 10：司書教諭資格取得者の進路変化*

| 進路 | 変化なし | 増加した | 減少した | 不明 |
|-----------|-----------|----------|---------|-----------|
| 専任教員 | 60(34.7%) | 10(5.8%) | 4(2.3%) | 61(36.5%) |
| 非常勤教員 | 51(29.5%) | 17(9.8%) | 3(1.7%) | 64(37.0%) |
| 専任学校図書館員 | 50(28.9%) | 2(1.2%) | 6(3.5%) | 74(42.8%) |
| 非常勤学校図書館員 | 47(27.2%) | 6(3.5%) | 3(1.7%) | 76(43.9%) |

*無回答(39-41)を含む総数は173

司書教諭資格取得者の進路の変化については(表 10)、あまり変化はないが、専任教員と非常勤教員になる者にやや増加傾向がみられる。この設問については、3割以上の大学が不明と回答し、また、2割以上が無回答なため、大学では実態を把握していないようである。

4. 教員の動向

司書教諭資格科目を担当する教員数の変化については(表 11)、専任教員には変化がみられないが、非常勤教員は増加傾向がみられる。

表 11：司書教諭資格科目教員数の変化

| 種別 | 変化なし | 増加した | 減少した | 無回答 |
|-----|------------|-----------|----------|-----------|
| 専任 | 116(67.1%) | 14(8.1%) | 17(9.8%) | 26(15.0%) |
| 非常勤 | 108(62.4%) | 27(15.6%) | 14(8.1%) | 24(13.9%) |

IV. 結論

調査の結果、大学における司書教諭教育について、以下の点が明らかとなった。

- ・司書教諭資格の位置づけでは、国立大学以外は全学規則に記載しているものの、私立大学の約半数は通常の学費以外に課金していることから、通常の大学教育とは別のもので位置づけられている傾向がみられる。
- ・カリキュラムについては、大部分の大学では平成10年の省令改正以降に変化はみられない。
- ・学生の動向については、学生数はあまり変化がなく、卒業後進路については非常勤教員になる者に若干の増加傾向がみられる。
- ・司書教諭資格科目の教員の動向については、専任教員数はほとんど変化が見られないのに対し、非常勤教員数が若干増加している。

謝辞

質問紙調査の回答者各位には、貴重な時間を割いて情報専門職教育の現状を記述していただきました。この場を借りて感謝の意を表します。

参考文献

- (1) 三輪他. 大学図書館における司書・司書教諭教育の実態. 2005年度日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱, p. 39-42.

※日本教育情報学会での要綱原稿は上記の通りですが、後日誤りが見つかりました。下記のように訂正させていただきます。

正誤表

表5：大学の種類別に見た課金状況

| 大学の種類 | 学費以外に課金なし | 学費以外課金あり | その他 | 無回答 |
|---------|-----------|-----------|----------|----------|
| 4年制総合大学 | 61(51.3%) | 38(31.9%) | 9(7.6%) | 11(9.2%) |
| 4年制単科大学 | 16(64.0%) | 9(36.0%) | 0(0.0%) | 0(0.0%) |
| 短期大学 | 14(48.3%) | 12(41.4%) | 1(3.4%) | 2(6.9%) |
| 計 | 91(52.6%) | 59(34.1%) | 10(5.8%) | 13(7.5%) |